「平成」～「令和」の新しい風にのって

新入生歓迎号

左上から若鶴祭「仮装コンテスト」、左上「野球応援」、左下「体育祭」、右下「スキー教室」の写真。楽しい行事がいっぱいだ！！

新しい年号も公表された４月。、今年も満開の咲いた桜の木。いよいよ進級・入学の時期です。新たな思いを胸に今年も頑張っていきましょう♪

ようこそ都留高校へ

都留高ニュース

発行所
山梨県立
都留高等学校
大月市
大月２丁目11-20
編集
都留高校同好会

新一年生の皆さん入学おめでとうございます。もしかしたらこの「都留高ニュース」を知って下さる人もいるのではないでしょうか。今年もこの新聞を通して都留高校について少しでも知って興味を持っていただければ嬉しいです！

今後も最新情報を伝えられるように努力いたしますのでこれからも新聞同好会をよろしくお願いいたします！

今年度都留高校行事紹介

４月
入学式
応援練習
・先輩方から熱血な指導があります。しっかり覚えて、今後の学校生活で活かしましょう！
新入生レクリエーション
・一年生だけで行うため、親睦が深まります。楽しみにしてて下さい！

５月
元号改正
平成から令和へ
ゴールデンウィーク
・ついにゴールデンに。十連休・休みが増える分宿題も・・・
総体
・学校一丸となって学校ごとの順位を競います。みんなで協力しましょう！
第一回定期試験

６月
若鶴祭
・それぞれ各学年一クラスずつ６つのブロックに分かれて活動します。目玉は開会式での生徒会長と各ブロック長方によるダンスです！

７月
夏休み
野球応援
・野球部の応援に行きます。ここで応援練習の成果を発揮して下さい！

８月
課題確認試験

９月
体育祭
・若鶴祭と同じブロックで様々な種目で戦います。対抗リレーや騎馬戦はとても盛り上がります。
第二回定期試験

１０月
新人戦
・新体制になります。チーム一丸となって頑張りましょう！

１１月
第三回定期試験

１２月
修学旅行（二年生）
・沖縄に行き、歴史を学んだり観光したりします。

２０２０年
１月
スキー教室
・初心者でもすごく楽しめます。上級を滑るクラスの友達。ギャップ萌え。

２月
第四回定期試験

３月
卒業式
都留探究プロジェクト全体会
・約一年かけて研究した成果を発表します。毎年優秀な作品がたくさんあります。
球技大会
・今のクラスのメンバーとできる最後の行事です。精一杯楽しみましょう！
終業式・離任式
・別れは悲しいですね・・・。

新入生にメッセージ

生徒会長　平井駿之介さん

今年度の生徒会長より新一年生に向けて、メッセージを頂きました。

Q１，新入生に向けてのアドバイスを！

Ａ１，まずは部活に入り、人脈を広げるといいでしょう。都留校は兼部が可能なので、多くの人たちと関わることができると思います。勉強面では、課題が多く授業が７校時なことなど、中学と違うことがあり、生活リズムが変わってしまいます。だからこそ、勉強する習慣を身につけて下さい。最初は大変だと思いますが、慣れてくれば高校生活を楽しく過ごせます！

Q２，都留高校の良いところは教えて下さい！

Ａ２，文武両道を大切にしているところです。東大などの良い進路に進むこともでき、またどこの部活も良い成績を収めています。先生と生徒の距離も近く、相談などに親身になって考えてくれます。

Q３，新一年生にどんな風になってほしいですか？

Ａ３，３年間でしたいことを決めて下さい。高校生活を目標を持って過ごすことで、充実したものになると思います。例えば、部活で良い成績を取るなど、勉強以外でも良いです！

Q４，都留高生になってどうでしたか？

Ａ４，中学と違い、義務教育ではありません。自分で進路を考えて都留高校に来ました。今、私は卓球部と将棋部、生徒会に所属しています。時間があると自分を甘やかしてしまう性格だということを自覚しています。だから、色々やって時間を無くして自分を追い込んでいます。毎日忙しいですが、自分でやりたいと思ってやっています。

都留高校前駅誕生

～OBの悲願かなう～

３月２２日、都留探究プロジェクト全体発表会において、衝撃的なニュースが飛び込んだ。会の始めに富士急行社長様が登壇なされると、堀内社長様より「上大月駅の副駅名を都留高校前駅にします」と発表されたのだ。

これは昨年度の都留探発表で先輩方が行っていた「上大月駅を都留高前駅に変えよう」というプロジェクトを受けて決定されたそうだ。

また、駅舎の改装も同時に行われるとのことで、そのデザインを都留高生と一緒に考えるということも発表された。

今年開業９０周年を迎える富士急行と都留高校の創立１２０周年を記念して、５月１７日の創立記念日に除幕式が行われる予定である。

卒業していった先輩方の願いが叶った瞬間である。これは都留高校がますます発展していくための第一歩となったのではないだろうか。

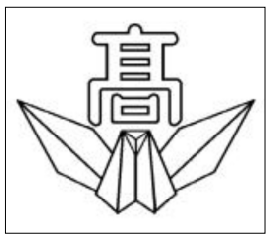
富士急行社長よりサプライズ発表

都留高校の秘密（新入生に向けて）

都留高ニュースではこれまで都留高校の秘密を記事にしてきました。それを新入生のみなさんに紹介します。（再掲）

都留高校の校章について

都留高生全員がつけているこの校章。それには深い歴史がありました。デザインは当時の美術部員の応募によるものでした。意味としては「新制高校の『高』の下にそれを支えるように一羽の折り鶴」を配したものです。



都留高校の校章

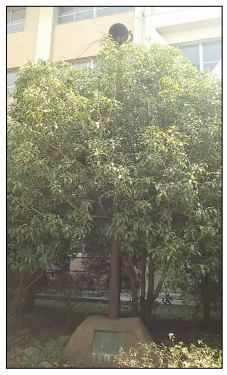
都留高校の校歌について

行事ごとに歌われる校歌。校歌の歌詞は文学博士・金子彦三郎氏作曲は国立音楽大学教授・小松清氏に依頼し長い伝統に培われた剛健不抜の精神と新しい時代広い世界に生きる若鶴の気概を謳ったものです。

都留高校の校訓について

校訓としての（五条訓）では戦後の民主化の波の中でその使命を終えました。しかし、その精神は新制高校の中でも生かされ、その後校風として定着したのが「質実剛健」の精神だったようです。のちに改めて（五条訓）を見直した三枝満校長先生は「自学進取」を新たな校訓とすることに決めました。

ちゃらんぽらんの鐘について



ちゃらんぽらんの鐘は一年と三年の昇降口にあります。鐘の下にある石碑にはこのように書いてあります。「この鐘は都留中学校創立当初から始業終了の時刻を告げてきたたれいうとなく鐘のメロディーから，ちゃらんぽらんの鐘，と呼ばれ朝夕親しまれた昭和四年卒業生一同が卒業五〇年記念としてこれをたてた。」

謎の彫刻について

体育館とハンドボールコートの間にある彫刻は「若鶴の飛翔」という名前を持っています。この彫像は平成九年三月一日に平成五、六、七、八年の卒業生の紹介でこの都留高校にたてらました。鼻をつまんでいるように見えますが、実際は空を見上げているとのことです。

選択教室の謎

選択教室の順番がとんでいる理由は、生徒数と選択教室の数が反比例しているからでした。最大七クラスまでありましたが、生徒数の減少により空き教室が増え、空き教室ができた順にアルファベットが振り分けられていったため、このようになりました。

大月にあるのに都留高校なのはなぜか？

都留高校の最も根源的な不思議、都留高校はなぜ大月にあるのに都留高校なのかについて小俣前事務長にお話をお聞きしました。

「都留高校は明治33（１９００）年に山梨県中学校都留分校として南都留郡谷村町（現都留市）に建てられました。その後明治35年（１９０２年）に北都留郡大月（現大月市）に移転されました。（都留高校の名の）理由としては**南北都留両郡の中央に設置されたから都留という名前を使用した**のではといわれています。」

もし最初から大月にたてられていたら「広里高校」または「大月高校」になっていたかも?!

前小俣事務長さんに『都留高百年の階』の本を見せていただきました。図書室でも見られるそうなので都留高の歴史に興味がある方はセーやさんに尋ねてみてはいかがでしょうか??

球技大会の結果記録

３月15日、快晴の中、球技大会が開催されました。この球技大会は各クラス最後の行事であり、クラスの団結力を改めて確認する大会です。

結果は左記の通りです。

〈結果〉

男子サッカー　第一位２－６　第二位１－１　第三位２－２

女子ミニサッカー第一位２－１　第二位１－６　第三位１－５

男子ソフトボール第一位２－１　第二位１－５　第三位２－２

女子バレーボール第一位１－３　第二位２－２　第三位１－１

ドッチボール　第一位２－２　第二位２－１　第三位１－３

自学進取

都留高校は来年で創立１２０周年を迎える県内屈指の伝統校だ。創立は１９００年、明治33年となる。『明治』、『大正』、『昭和』、『平成』、そして『令和』と４つの元号を経験してきたことになる。さて、１９００年というと世界史では義和団事件が起こった年である。義和団事件は中国・清王朝のもとで起こった日本やドイツなどの公使館を包囲し、列国に宣戦した事件である。その義和団事件を史実に基づき小説にしたのが松岡圭祐『黄砂の籠城』（講談社文庫）である。その本の紹介文には「足並み揃わぬ列強を先導したのは柴五郎中佐率いる日本だった。日本人の叡智と矜持を世界が認めた史実を描く、日本人必読の歴史エンタテインメント。日本人こそ最高の勇気と不屈の闘志、類稀なる知性と行動力をしめした、素晴らしき英雄たちである。」とある。新しい元号のもとでは、「『グローバル』な視点で『ローカル』な行動力をもったグローカル」な人材育成がより大切になってくるだろう。『グローバル』な視点で物事を考えるのは確かに難しいが、新入生の皆さんがこの都留高校での学びや、体験を通して世界に誇れる大人になってくれること期待したい。（顧問）